

会社は企業市民として、社員は古河市民として
もっと地域に溶け込んでいきたい。



下義生氏Profile:
昭和56年に日野自動車工業(現日野自動車)に入社後、商品開発や海外営業に携わる。平成27年専務役員、平成28年4月からはトヨタ自動車常務役員として活躍され、平成29年6月から取締役社長、現在に至る。

現在は、昼夜の二交代で生産しているで、一日に約2000台の完成車を生産しています。現地で組み立てられるように海外向けに梱包しているのも古河工場です。世界中で「メイドイン古河」の日野のクルマが走るようになります。

地域にやさしい工場
針谷 夜間に生産するために、法の規制以上の厳しい基準で生産されていらつしやると伺いました。



世界トップクラスの商用車メーカーとして知られる日野自動車株式会社が整備を進めていた古河名崎工業団地に立地する古河工場が、昨年9月、ついに本格稼働を開始しました。明るい未来に向けて、マザー工場となる古河工場の理念や展望、今後の抱負などについて代表取締役 下義生社長と針谷力市長に語っていただきました。

下 古河工場は「3つのやさしい」をコンセプトにしております。働き手と環境、そして地域にやさしい工場でありたいと考えています。

できるだけ地域の皆さまにご迷惑をおかけしないよう、地域振興に貢献できるよう、これからも取り組んでいきたいと思っています。

針谷 市の行事への協賛、隣接する小学校・中学校への図書の寄贈や交通安全教室の開催。また、通学路での立哨活動を毎日行うなど、多くのご配慮をいただき感謝しております。

会社も社員も市民として
針谷 古河市では、周辺の道路などのインフラ整備や企業立地促進奨励金などで支援しながら、転勤される社員の皆さんもケアできるよう努めてきました。古河市内見学会の開催や日野工場に伺っての説明会などもその一環です。

日野自動車の社員限定ではないですが、定住促進奨励金は、社員の皆さんの転勤を念頭に置かせていただいたものです。

下 古河市への転勤を不安に思っていた社員がいましたので、ご配慮いただいたことは大変ありがたかったです。正社員だけでも1300人くらいは移転しましたが、おかげさまで、ほとんどの社員が古河への転勤

「メイドイン古河」を世界へ
針谷 ついに古河工場が本格稼働を迎えられましたね。おめでとうございます。

下 ありがとうございます。古河市民の皆さまには大変なお力添えをいただきまして、おかげさまで本格稼働にこぎつけることができました。

針谷 平成22年に用地取得決定をお知らせいただいた以来、7年間。ずっと待ち望んでいましたので、大変うれしく思います。

下 わが社は、人・物の移動を通じて世界中の人々を支えていますので、グローバル生産体制を加速させていかなければなりません。

それを支えていくのが古河工場です。古河への工場移転に併せて、体制の見直し、新技術の導入を進めてきまして、ようやく大型車・中型車の全量を古河で生産できるようになりました。それに、古河工場は世界一きれいな車両組立工場だと自負しております。

針谷 全量ということは、私たちがあちこちで見かける日野自動車の大きなトラックは全部「メイドイン古河」ということですね。

下 はい。大型中型の完成車は、すべて古河で組み立てています。



を了解してくれました。実際に古河で暮らし始めた社員からは、生活面でも便利だと聞いています。

針谷 ありがとうございます。今や少子高齢化は全国的な問題になっており、人口減少はほとんどの自治体にとって切実な問題です。

残念ながら古河市も人口は減っています。昨年度に関しては、転出する人よりも転入する人が多くなっています。これは、日野自動車の社員や家族が転入していただいていることが大きいと思っています。

下 会社は企業市民として、社員は文字通り古河市民として、もっと地域に溶け込んでいきたいと考えています。急に人数が増えたので、地域によってはご迷惑をおかけしているのではないかと心配もしているんです。